

6 学 校 教 育

◎ 基本目標

「人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子どもの育成」
～科学的な探究心をはぐくみ、確かな学力を身に付けさせる教育の推進～

1 現状と課題

本市は、長年農業と先端技術工業を産業の基盤として、いわゆる農・工一体型の地域社会として様々な分野に多くの優れた人材を輩出しており、学校教育においても、地域文化・芸術や人材を積極的に活用し、感動ある学び・意欲的な学びの創造等を核に各種施策を進めてきている。

各校ではふるさと教育を基底としたコミュニティ・スクールを推進し、各地区の歴史・伝統を踏まえ、特色ある教育課程を編成している。児童生徒一人一人は、具体的な目標実現を目指して主体的に学習に取り組んでいる。その成果として、粘り強く科学的に探究心を見つめ、思考したり表現したりする活動を通して、日本学生科学賞内閣総理大臣賞受賞、全国小中学校作文コンクール文部科学大臣賞受賞や、青少年読書感想文コンクール毎日新聞社賞受賞等、科学分野や文芸等で全国的にも優れた賞を受賞している。これらこのことを踏まえ、今後も科学する心と力をはぐくむ教育を一層進めるとともに、科学的な探究心をはぐくみ、確かな学力を身に付けさせる教育に努め、地域の期待に応えるようにする。その際、教育・人材育成の基本を「子どもに“寄り添い、教え、導く”」ことを理念に活動を展開していきたい。

2 基本方針

(1) 人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子どもの育成

本市の目指す教育の将来像は、市の総合計画・新創造ビジョンより「共生・躍動・自立」という視点で進めてきている。特に、各地域の特色を生かした体験活動や道徳及び特別活動の指導を通して、人や自然を敬い感謝する心をはぐくまれるとともに、先人の業績や地域の文化に触れるふるさと教育を通して、学習に広がりや深みが増してきている。

また、学習指導要領で重視される言語活動の充実や、活用する力を伸ばす調べ学習やふるさとキャリア教育、読書活動、外国語活動等を興味関心をもって学び続ける力も身に付けている。特に、小学校における外国語活動については、将来的な教科化を見据え、文部科学省指定の事業を核に指導の充実を図る。

さらに、授業スタイルの構築・活用により、指導の工夫改善を図るとともに、自ら学ぶ力を発揮した家庭学習の充実を進めていく。また、言語活動をより充実させることに取り組むとともに、体験したことを表現し伝え合い考察する活動を推進し、読解力等生きるとはたく力を培っていきたい。将来は、人と豊かにコミュニケーションできる子ども、文化を新しく創造していく子ども等、ふるさと恵まれた環境を生かして物事に積極的に取り組む心身共にたくましい子どもの育成を図っていききたい。

(2) 科学的な探究心をはぐくみ、確かな学力を身に付けさせる教育の推進

各校では豊かな自然や先人の業績に「触れ、学び、活かす」という機会を持ちながら多様な学習活動を展開し、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を目指してきた。市では、科学フェスティバルをはじめ、地域の人材や高校、大学などの教育機関、企業等との連携を通して人的支援を図り、知的好奇心を喚起し、大探的な活動を行うことができるようにしてきている。また、体験型理数教育を取り入れた授業力向上の推進を図り、学校を取り巻く学びの支援ネットワークを整備し、多様な学習活動の充実に取り組んでいる。

さらに、全国調査等各種アンケートの分析・検証と、日々の授業研究とをリンクさせた授業改善の取組により、子どもたちの学びの質も確実に向上してきている。

このことは、自ら課題を求め追究する姿勢を高め、英語や漢字等の各種検定への参加者の増加、思考コンテストへの挑戦、日本学生科学賞の連続受賞など、自らに問い続け、目標を立てて学び、成長し続ける子どもや学校の増加に表れている。

今後、授業改善を進めるにあたりアクティブ・ラーニングの視点を重視し、主体的な学び、協働的な学びのある授業構築を更に進めていく。そして、自分の能力を最大限に発揮して自己実現を図る「主体的に挑戦する学び」を創造していきたい。

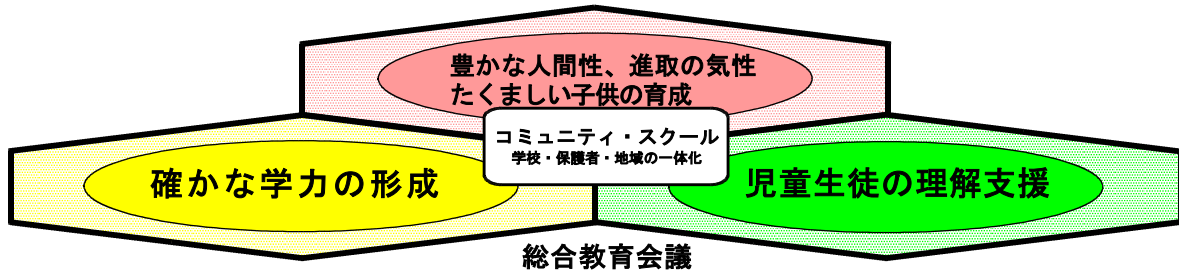
また、人との「コミュニケーション」の在り方や自分をかけがえのない存在とする「自尊感情」のたたせ方、「自己表現」の仕方などを基盤にして、学習指導要領の趣旨を生かして、科学的な見方や考え方ができる児童生徒の育成、確かな学力を身に付け、自信をもって表現できる児童生徒の育成を図っていききたい。

(3) 由利本荘市の人間性豊かな子供像

- 自然や地域文化を愛し、他人を思いやり奉仕する、心豊かな子供
- いのちの尊厳や万物共生の精神を理解し、たくましく生きる子供
- 目標をもち、自信と誇りをもって科学的に探究しながら、学び続ける子供

3 学校教育の重点施策

<p><コミュニティ・スクールの推進></p> <p>◇自己実現を目指すふるさと・キャリア教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供一人一人の社会的自立を踏まえた生き方指導の充実 ・学ぶことや働くことの意義を実感できる指導の充実 ・学ぶんチャレンジ・プログラムの活用 <p>◇中学校区を中心にした小中一貫教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9年間を見通した小学校から中学校への接続の円滑化 ・児童生徒の規範意識の向上、異年齢集団での活動による自尊感情の高まり、教職員の児童生徒理解や指導方法改善意欲の高まり 	<p><豊かな人間性の育成、進取の気性の涵養、たくましい子供の育成></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>◇豊かな人間性の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと・キャリア教育の推進 ・道徳教育の充実 ・体験活動の充実 ・和文化教育の推進 ・伝統文化・芸能活動の継承と発展 ・コミュニケーション能力の育成 ・学校事務の共同実施 </div> <div style="width: 45%;"> <p>◇進取の気性の涵養</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生会議の充実 ・問いを発する子供の育成 ・特別活動の充実 ・情報活用能力の育成 <p>◇たくましい子供の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すこやかな体の育成、感染症の予防 ・食育の推進 ・通学路安全プログラムの実施 ・防災教育の充実 </div> </div>
---	---



<p><確かな学力の形成></p> <p>◇指導方法の工夫改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業スタイルの構築による授業改善 ・単元評価問題の活用 ・家庭学習との連携 <p>◇授業研究協議会及び研修会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修会（春季、夏季、冬季） ・市授業力向上訪問 ・教育専門監の積極的活用 ・広域3ブロック制による授業実践研究会 ・研究指定事業の成果波及 <p>◇理数教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型理数教育の推進（リアルサイエンス事業） ・科学フェスティバル ・理科教育センターの活用 	<p>◇英語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語教育強化地域拠点事業 ・小学校短時間外国語学習 ・ALTの積極的活用 <p>◇主体的・協働的な学習の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実した生き方に結び付けるアクティブ・ラーニングの試みと実践的研究 <p>◇言語活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を明確にした単元構想 ・単元末の振り返りの集積による学びの外言化 <p>◇各事業の積極的運用及び活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上対策委員会による学力向上の推進 ・全国調査等の採点及び結果分析・活用 ・中学生アカデミーの開催 ・トライアングルプランの推進
<p><児童生徒理解と支援></p> <p>◇各校における生徒指導体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員の一致協力と役割分担 ・相談窓口の設置及び対応 ・問題行動発生時の迅速かつ毅然とした対応 <p>◇不登校・いじめ問題等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校いじめ防止基本方針の策定及び運用 ・児童生徒会活動を中核にした取組の推進 ・市いじめ問題対策連絡協議会の開催 <p>◇各事業の積極的運用及び活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校安全ボランティア、地域見守り、子供110番の家の指定等の活用 ・適応指導教室（本荘ふれあい教室）の運用 ・緊急連絡メールの活用 <p>◇特別支援教育及び就学前教育等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児通級指導教室（さくら教室） ・通級指導教室 	

[学校教育課関係の行事予定]

<p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> □春季教職員研修会(4/13) ☆全国学力・学習状況調査(4/19) □学力向上対策推進委員会 □全国学状採点(小:4/21、中:4/27) <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員学校訪問(～11月) ・学力向上訪問(～2月) ・本荘ふれあい教室開級式(5/9) ◎教育研究所等運営委員会①(5/17) ○市コミュニティ・スクール連絡協議会①(5/31) ・チャレンジデー(5/25) <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆公開授業&講演 秋山仁氏 ◆体験型理数教育(小中出前授業) ・通学路安全推進会議① <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ・スクール全国大会(7/29) ◆体験型理数教育(小中出前授業) 	<p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> □市生徒指導研修会(8/5) △市いじめ問題対策連絡協議会①(8/21) □夏季教職員研修会(8/9) □市情報教育研修会(8/18) □市特別支援研修会 □市図書館担当研修会 <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒理科研究発表会 ・本荘由利英語暗唱弁論大会(9/7) <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> □市幼保小連携研修会(10/19) ・通学路安全推進会議② ・中学校少年非行防止・防火弁論大会 ・親子読書感想文発表会 ・ひがしゆり音楽祭 ・高橋宏幸賞感想文・感想画 	<p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生会議 ・市中学生アカデミー ・市教育支援委員会① <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市第13回科学フェスティバル(12/3) ☆県学習状況調査(11/30・12/1) ・PTA連合会との連携 ○市コミュニティ・スクール連絡協議会②(12/20) <p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> □冬季教職員研修会(1/11) △市いじめ問題対策連絡協議会②(1/19) <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市教育支援委員会② ○市コミュニティ・スクール連絡協議会③(2/20) ◎教育研究所等運営委員会②(2/15) <p>指定校公開等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴舞小教育課程指定校公開(10/28) ・由利小・由利中・由利高校英語教育強化地域拠点事業公開
--	--	---

(1) **コミュニティ・スクールの推進（地域とともにある学校づくり）**

コミュニティ・スクールの実施により、地域のよさや地域の一員としての認識を深める教育活動を通して、ふるさと教育・キャリア教育のさらなる充実を図る。

地域住民の学校運営協議会・地域運営協議会への参加により、地域力を生かした学校づくりが行われ、また、学校が学校力を生かした地域づくりに参画することにより、地域全体が活性化していく。

児童生徒は、自らの生い立ちの基盤であるふるさとのすばらしさ、知恵や創造性に感動を覚え、たくましく生きる自信と誇りを持ち、地域の活性化、地域づくりの大きな核となる。

① **自己実現を目指すふるさと・キャリア教育**

- ・子供一人一人の社会的自立を踏まえた生き方指導の充実
- ・学ぶことや働くことの意義を実感できる指導の充実

② **中学校区を中心にした小中一貫教育の推進**

- ・小学校から中学校への接続の円滑化（中1ギャップへの対応）
- ・児童生徒の規範意識の向上、異年齢集団での活動による自尊感情の高まり、教職員の児童生徒理解や指導方法改善意欲の高まり

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| ◇ コミュニティ・スクールの推進（平成27年度全指定済み） | ◇ 中学生会議の開催 |
| ◇ コミュニティ・スクール全国大会の開催 | ◇ 学校支援地域本部事業の充実 |

(2) **豊かな人間性の育成、進取の気性の涵養、たくましい子供の育成**

① **問いを発し、主体的・協働的な学びができる子供の育成**

必要な情報を収集し活用するとともに、新しいものの見方や考え方を進んで他者に伝え、自らの発意や発想により諸課題の解決策を話し合える子供を育成するよう意図的な取組を行う（アクティブ・ラーニングの試みと実践的研究）。

② **育成すべき資質・能力を明確にした道徳教育の充実**

新しい学習指導要領「特別の教科 道徳」の目標及び内容について理解するとともに、各教科をはじめとする全領域との関連を図り、よりよく生きるための基盤となる道徳性の育成に向けて計画的・発展的な指導の充実を図る。

③ **体験型理数教育の充実**

机上の学びにとどまらず、観察・実験、ものづくり・操作活動などの体験を通して、主体的に考え、創造する喜びを味わえる授業を構築することにより、知識を活用して自ら課題発見や課題解決ができる創造力、行動力を育む。

④ **中学生会議の充実**

学校、地域の問題を自分たちの課題と捉え、その解決に向けて主体的に活動するよう組織的な取組を行う。

⑤ **グローバル化に対応できる子供の育成**

これからの多文化共生社会において、多様な価値観や背景をもつ人々と相互理解を深め、課題について相互に考えを伝えたり深めたりすることができるよう人間関係形成・社会形成能力を意図的に育む。

⑥ **健康でたくましい心と体の育成**

平成27年度新体カテストによると、本市児童の運動能力は、50m 走、ソフトボール投げは県平均を上回っている学年が多いものの、長座体前屈、反復横跳びでは下回っている学年が多い。生徒の運動能力は、持久走、50m 走は県平均を上回っている学年が多いものの、握力、上体起こし、立ち幅跳びでは下回っている学年が多い。継続的な指導により改善を図る。

また、栄養教諭制度の円滑な実施をはじめとした食に関する指導の充実に取り組む。学校における食育の生きた教材となる学校給食の充実を図るため、より一層の地場産物の活用を進める。

- | |
|---------------------------------------|
| ◇ 基礎体力向上への取り組み（体育学習の活性化、朝・業間活動の奨励） |
| ◇ 体力づくりのための創意工夫ある実践※チャレンジデー（5/25）への参加 |

⑦ **安全安心な通学路の整備**

小学校の通学路については、道路管理者、警察、学校、教育委員会による合同点検及び対策の検討と実施により、安全に通学できるよう整備を進める。また、各学校での交通安全教室の開催により、安全な通学への意識の醸成を図る。

- | |
|---|
| ◇ 通学路安全推進会議の開催 |
| ◇ 通学路の安全確保に関する取組の方針（由利本荘市通学路交通安全プログラム）の運用 |

⑧ 防災教育の充実

自然災害等の現状、原因及び減災等について理解を深め、現在及び将来に直面する災害に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意志決定や行動選択ができるようにする。また、地震、台風の発生等に伴う危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための行動ができるようにするとともに、日常的な備えができるようにする。

⑨ 情報活用能力、コミュニケーション能力の育成

子供たちの情報の活用に関する指導を、図書館やコンピュータールーム等の施設活用を図りながら推進する。また、関係機関と連携して、情報化社会に必要な情報モラル教育を徹底する。

i) 情報機器等の効果的な活用

- ・情報モラル教育の充実（警察署や携帯電話会社等の外部機関との連携）
- ・教科等における電子黒板等、ICT機器の活用

ii) 図書館の活用、読書活動の充実（朝の読書活動、読み聞かせ活動等）

- ・授業における学校図書館の活用の拡大
- ・学校図書館と公立図書館との連携強化（トライアングルプラン）

◇ 学校司書の配置

(3) 確かな学力の形成

全国学力・学習調査の結果から、小・中学校の平均正答率において、本市は国語、算数・数学、理科ともに全国平均を上回り、本市の児童生徒の学力の状況は概ね良好なものと判断できる。しかし、本市の児童生徒の学力は、各教科において課題となる事項あり、学校間の差は昨年度より広がっていることから、今後、児童生徒の学習意欲の向上を一層図るとともに指導方法の改善の徹底にも取り組んでいく必要がある。

今後、授業スタイルの構築による授業改善や指導力の向上及びアクティブ・ラーニングの実践を通して、基礎・基本の確実な定着と言語活動の充実を基に思考力・判断力・表現力を高め、学び方を習得し自信をもって粘り強く学び続ける子供の育成を図る。

① 基礎・基本の定着及び問いのある学習指導

- ・授業スタイルの構築・活用による指導の充実
課題設定⇒見通し⇒自力解決⇒学び合い⇒まとめ⇒チェック⇒振り返り⇒家庭学習等ノートの活用、板書の工夫等
- ・言語活動の充実を図る指導の充実

② 個に応じた指導・支援の工夫

- ・学力上位層への支援等、個に応じた支援の充実
- ・目的に応じた多様な学習形態等による指導の工夫

③ 課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習

- ・体験活動から問題・課題を見つけ、思考へとつなげる授業展開
- ・児童生徒が学び方を習得する課題解決・探究型の授業への積極的な取組
- ・学び合い、ディスカッションにより思考力、判断力、表現力を高める授業展開の工夫

④ 大阪府箕面市との研修交流

- ・小中一貫（連携）教育の充実
- ・人権教育、インクルーシブ教育の充実

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| ◇ 教育研究所等による各種研修会の実施 | ◇ 授業力向上訪問の実施（国語・算数・数学、理科、英語・外国語活動） |
| ◇ ブロック別授業実践研究会の開催 | |
| [北ブロック] 小 [11月25日（金）]、中 [10月26日（水）] | |
| [南ブロック] 小 [11月18日（金）]、中 [10月19日（水）] | |
| [東ブロック] 小 [11月 9日（水）]、中 [11月 9日（水）] | |
| ◇ 教育専門監の配置（算数・数学、理科） | ◇ 中学生アカデミーの実施 |
| ◇ 科学フェスティバル | ◇ 体験型理数教育の推進（リアルサイエンス事業） |
| ◇ 理科教育センターの活用 | ◇ 英語教育強化地域拠点事業（由利小・由利中・由利高） |
| ◇ 教育課程研究指定校事業（鶴舞小） | ◇ アクティブ・ラーニング研究校（西目小・西目中） |

(4) 児童生徒理解と支援

問題行動発生時の迅速かつ毅然とした対応等について各中学校区や市全体で共通理解を図り、全教職員の一致団結と役割分担による生徒指導の充実を図る。また、未然防止等の観点から、自己肯定感の醸成を、生徒指導の三つの機能（自己存在感、共感的人間関係、自己決定）を生かした授業づくりを基盤に、全ての教育活動において、自己肯定感を育む積極的な生徒指導を展開していく。

不登校・いじめ問題等への対応については、不登校に陥る理由が多岐にわたり複雑化してきていることから、これまで以上にきめ細やかな指導や支援の充実を図ると共に関係諸機関との連携等を強化し、心に寄り添う指導を基本に推進していく。

① 自己肯定感を育む

- ・生徒指導の三機能を生かした指導の充実
- ・道徳教育やキャリア教育との連携による指導の充実

② 不登校・いじめ問題等への対応

- ・学校いじめ防止基本方針を核とした指導の充実
- ・保護者との連携やスクールカウンセラー等関係機関との連携による指導の充実

③ 人権教育の推進

- ・自分の大切さとともに他者の大切さを認める意識の涵養
- ・日常生活で自然に態度や行動に表すよう実践する態度の育成

- | | |
|------------------|------------------------|
| ◇ 教育相談窓口の設置 | ◇ 適応指導教室（本荘ふれあい教室）との連携 |
| ◇ 心の教室相談員配置（中1校） | ◇ スクールカウンセラー配置事業（中9校） |
| ◇ 緊急連絡メールの有効活用 | ◇ 市いじめ問題対策連絡協議会の開催 |

④ 特別支援教育及び就学前教育等への支援

特別支援教育については、市長部局（健康管理課、子育て支援課）、県教育委員会、ゆり支援学校と連携しながら早期からの教育相談体制を整備し、適切な就学及び安全・安心な学校生活の充実に向けて、個別の指導計画等の作成を通して子供たちへの支援の充実を図る。

- | |
|--------------------------------------|
| ◇ 幼児通級指導教室（さくら教室…鶴舞小、岩谷小） |
| ◇ 個別の指導計画と教育支援計画の作成（「学ぶんファイル」の活用） |
| ◇ 特別支援教育地域支援センター（鶴舞小）、相談ルーム（岩谷小） |
| ◇ 通級指導教室（鶴舞小：言語・LD・ADHD、矢島小：LD・ADHD） |
| ◇ 学校生活サポート事業 |
| ◇ 発達障害の可能性のある児童生徒等に対する早期・継続支援事業 |

(5) 学校事務の共同実施

各学校の事務職員が情報を共有し、相互に支援し、共同で学校事務を処理することにより、事務の正確性、効率性、専門性を高めるとともに、学校運営及び教育活動への積極的な支援に努めることができるよう学校事務・業務の共同実施を推進する。

- | |
|------------------------------------|
| ◇ 「共同実施グループ」について（*）：グループリーダー校 |
| ○ グループ1 由利中（*）、矢島小、由利小、鳥海中、矢島中、鳥海中 |
| ○ グループ2 大内中（*）、岩城小、岩谷小、大内小、岩城中 |
| ○ グループ3 本荘東中（*）、尾崎小、子吉小、東由利小、東由利中 |
| ○ グループ4 新山小（*）、小友小、石沢小 |
| ○ グループ5 本荘北中（*）、鶴舞小、西目小、本荘南中、西目中 |

<事業等>

- [文科省] 「コミュニティ・スクールの推進への取組」に係る委託事業
- [文科省] 「首長部局との協働による新たな学校モデルの構築事業」
- [文科省] 英語教育強化地域拠点事業（由利小、由利中、由利高校）
- [文科省] 教育課程研究指定校事業（鶴舞小）
- [文科省] 新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト（西目小、西目中）
- [文科省] 発達障害の可能性のある児童生徒等に対する早期・継続支援事業
- [文科省] いのちの教育あったかエリア事業（矢島小、矢島中）
- [県教委] 小学校専科指導加配配置事業（小友小）
- [県委託] 学校支援地域本部事業（全中学校ブロック）
- [市教委] 大阪府箕面市との研修交流